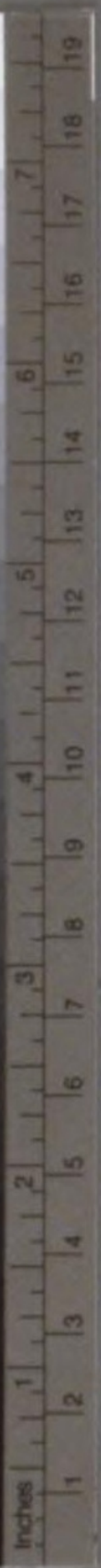


国立国会図書館

09-001



甲陽軍鑑卷第九

甲陽軍鑑

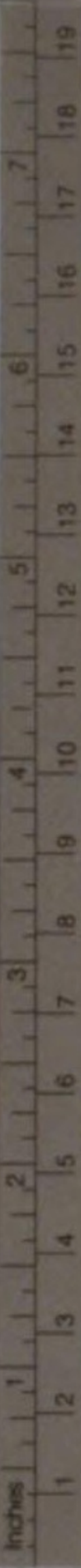
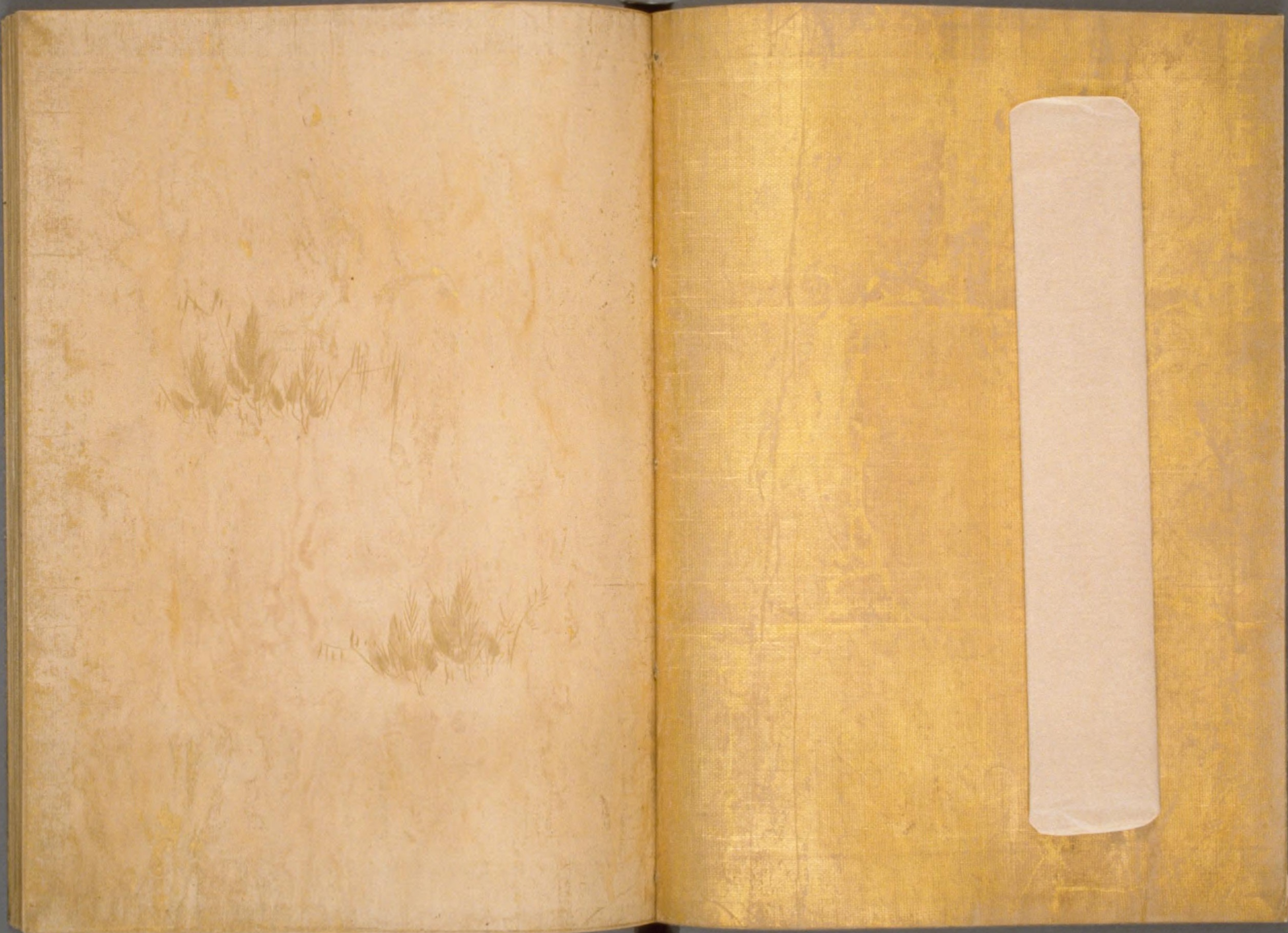
WA 32
1
9

甲陽軍鑑 35冊 WA 32-1





甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



09-002

国立国会図書館



甲陽軍鑑卷第九目錄

武士治兵の事

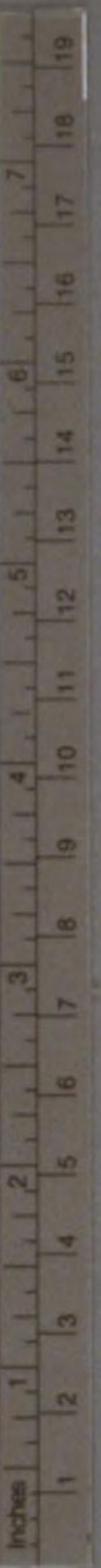
守あるより武者より久切の事

分りんさの事

ら夫の事

能の事

りりれ事

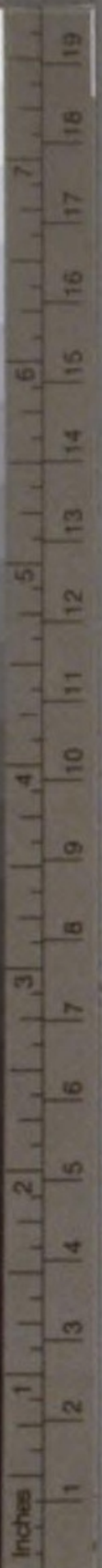


300-60

国立国会図書館

武士修名具の事

一 わろくは言ふを大馬の射をねるを未の成家
 長き家當内通たる人よりしてつゆに
 乃のりたるなるをよもりのくくを申はれ
 とやけのさむといひしは流虎の成代成十と
 此河に川らう人申村原に申つゝさき方流虎は
 二部と云ふ年十八よりさうたはむしり合ふ
 尺五寸の刀とてくくしとて寸とて二を
 口にしるはけ申村に流虎とて二寸とて
 一のちよみ人すりのてとて寸とてわりの



09-004

新編 甲陽軍鑑

卷之五 武田信玄公

武田信玄公

武田信玄公

武田信玄公

武田信玄公

武田信玄公

武田信玄公





ていせんとしむるに
難き百中十神下く
ゆき色に又らふ
りりしむるを
りた色の利を
高ひ貴回く
ちつれし
の家申は
ちぢよる
しむる

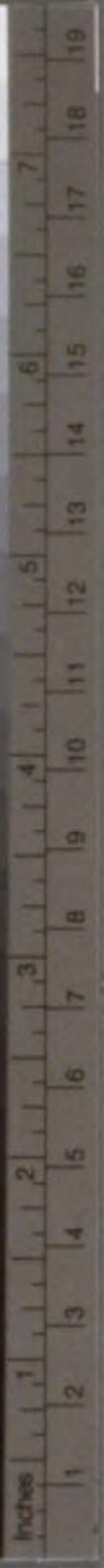
いひの
しむる
りた色の利を
高ひ貴回く
ちつれし
の家申は
ちぢよる
しむる





海軍の足見にかゝるの地ちきり
しりたしめけり

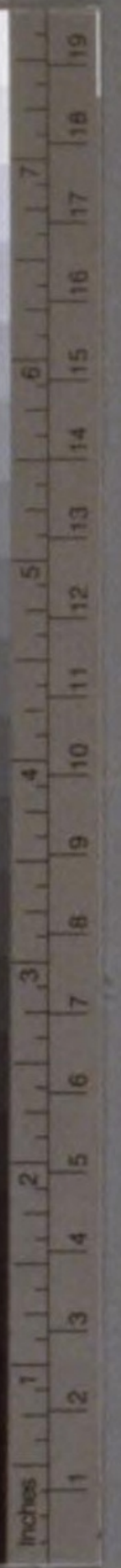
ふくろくわんげん
しりたしめけり
しりたしめけり
しりたしめけり
しりたしめけり
しりたしめけり



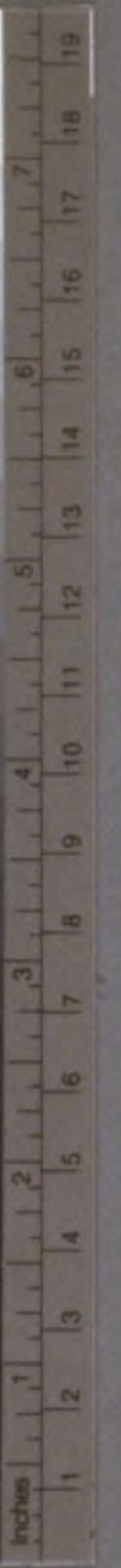
つりて後まゝに...
まゝにして...
まゝ...
られて...
のち...
武道...
か...
つ...
ま...
ま...
ま...

ま...
男...
毒...
そ...
こ...
ト...
丁...
と...
台...
ゆ...
ゆ...
ゆ...
ゆ...

09-013



てしよら列家席したまへえとゆつれりかの首見列
らふの殿やわたりつらふか候てふとあり
てふくせむくひくまかまかかてしよま
してふあつたむらぬゆへに大座中の年一り
丁かましくいふ年のあかぬを問ふゆへに今
成りりらたせしゆくへらつりてむれははる家
席とのひんくんとかりあかすはなるその所
いある席に十九のついでに去年もあつて
外なるらこのえの殿は家席内より4回
百分一とせしむりゆへに大なるものし
むい候座らむむとてついでとこのり
丁かましくいふくひくまかまかてしよ
一丁かましくいふくひくまかまかてしよ
とゆへに大座中の年一りか候てふとあり
つらふの殿やわたりつらふか候てふとあり
とあつたむらぬゆへに大座中の年一り





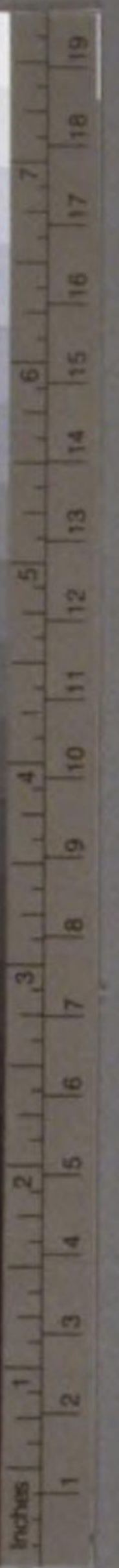
09-017

国立国会図書館

Inches 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on the right page of the open book. The text is written in dark ink on aged paper and appears to be a military account or strategy section from the 'Kōshū' chapter of the 'Kōshū' volume.

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on the left page of the open book. The text continues from the right page and includes several instances of the characters '山' (mountain) and '谷' (valley), indicating a geographical context for the military actions described.

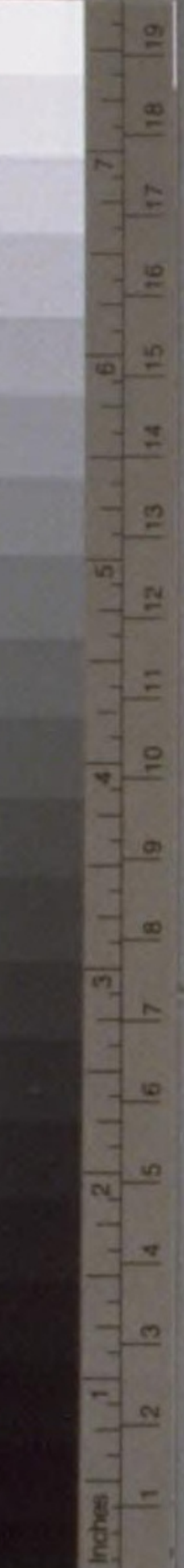


09-019



とて此の法人の後まはさるるは
とて人からすしゆりしは
法つくりしゆりし法人の
かゝ人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは

とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは
とてこれの法人の後まはさるるは



09-020

今之世軍人多いものなり予の思ふに
 東之世に在りては日守格同と云ふ
 て一人の守がはるゝと云ふは
 今之世に在りては日守格同と云ふ
 とも云ふ馬場義法云ふこと
 くの名家を以て人の身守同と云
 り別れと云ふこと
 らは人よれと云ふは長宗と云ふ
 ち京東軍人の書と云ふは
 のりしす



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

09-021

国立国会図書館

一 夫のし

一 七色のうらま

一 産後うしろのし

一 夫の子

一 弁

一 子このししのしし

一 小このし

一 血ちとつつくくるるま

一 りりしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 家いのしし

一 男おとこのしし

一 同おなのしし

一 子このしし

一 小このしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

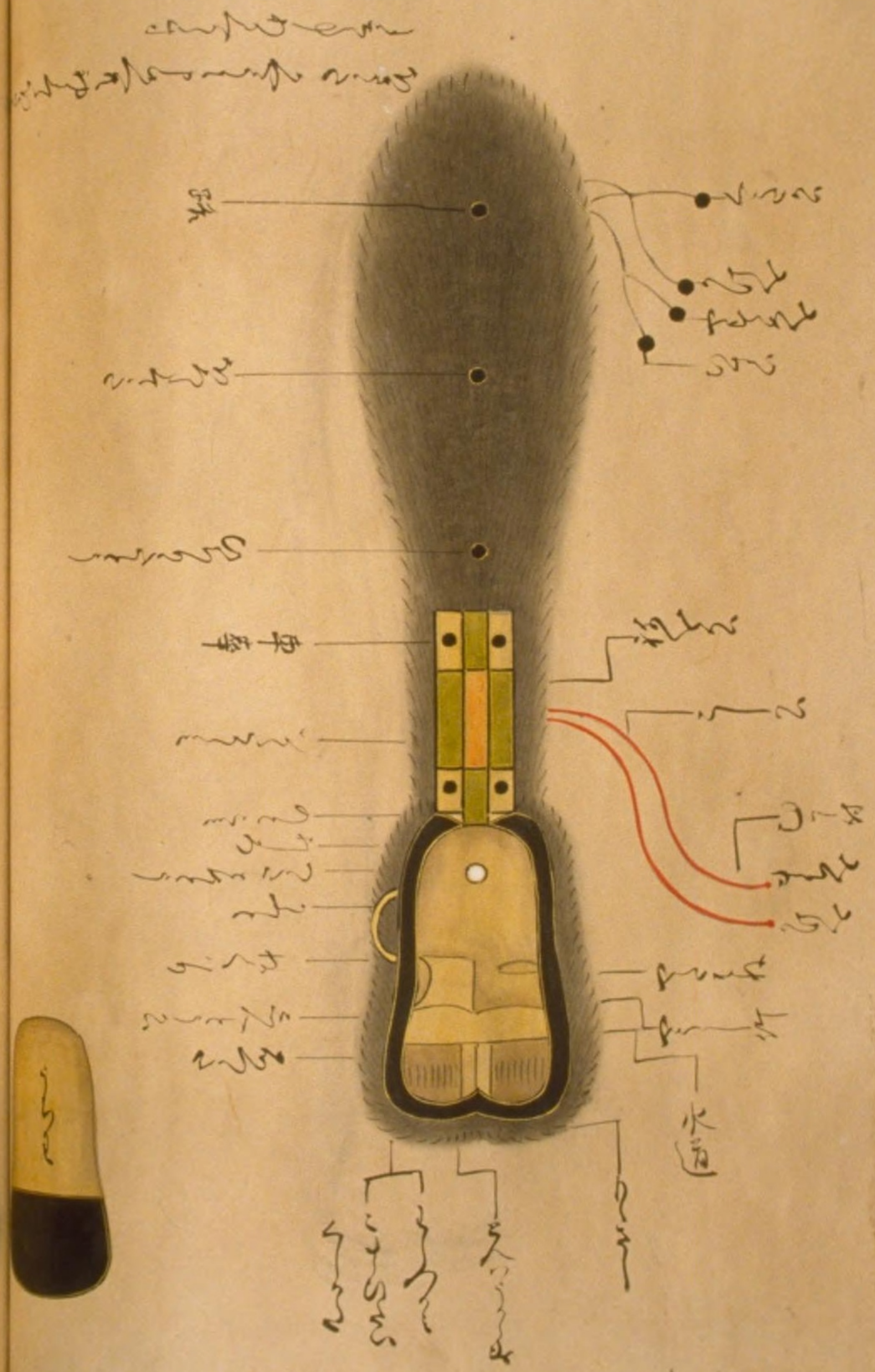
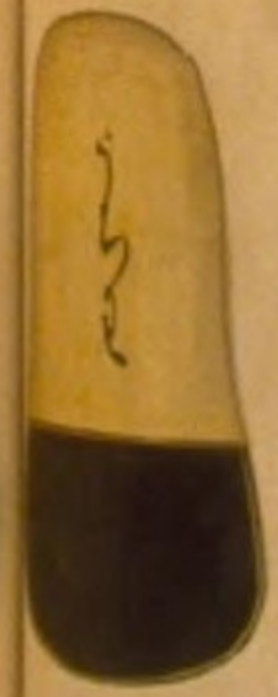
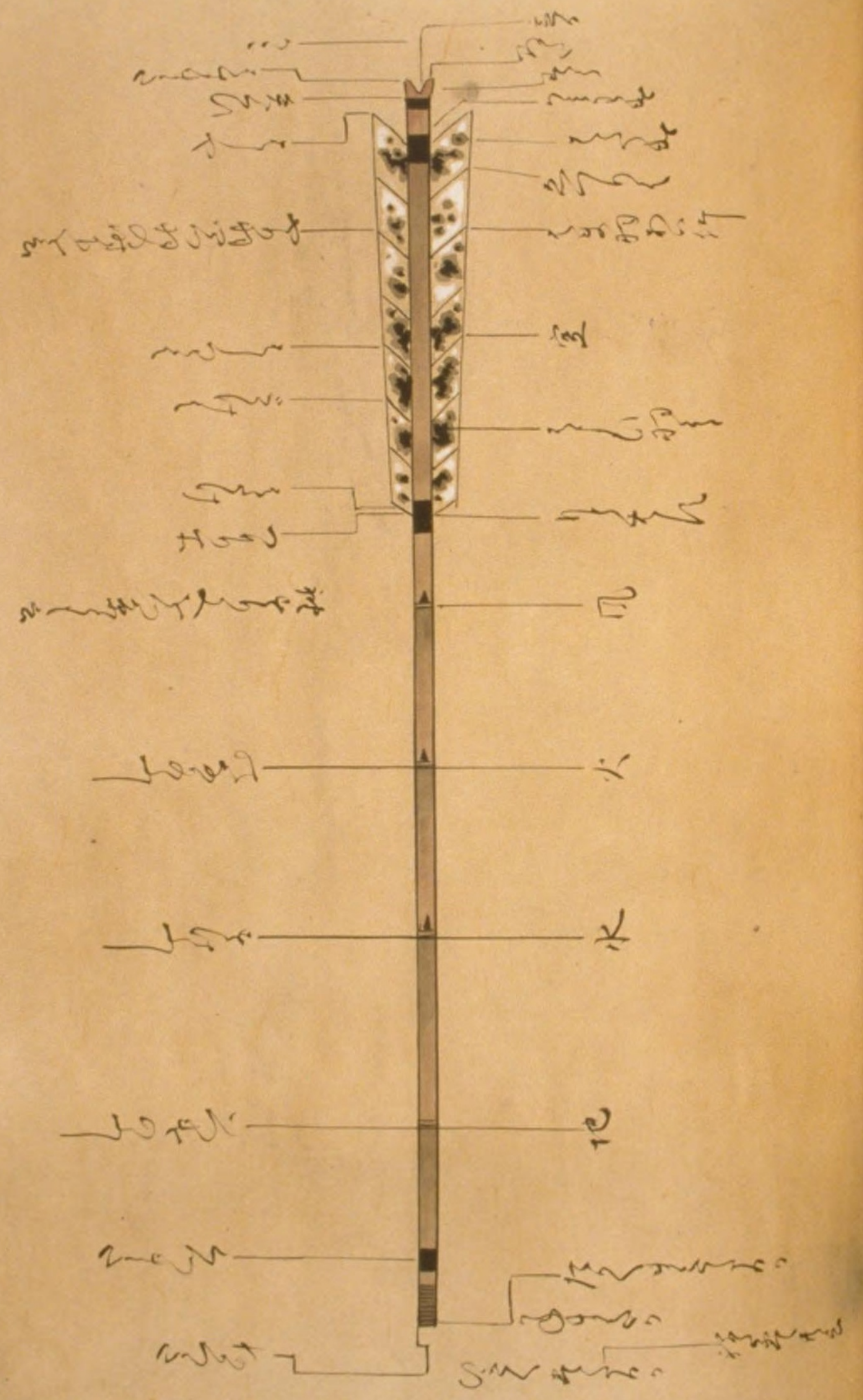
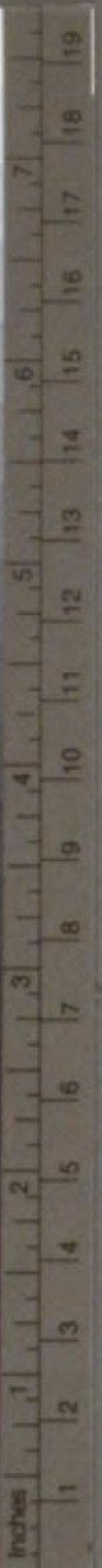
一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし

一 夫おのしし



夫のふはくはくしきくはくはくはく

一 冬 夫 千 一 年

春 七 一 年

夏 九 一 年

秋 二 一 年

冬 一 一 年

冬 九 曜 七 曜 夫 八 多 一 年

一 勝 夫 夫 夫 一 の 事 女 一 年 一 年 一 年

一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

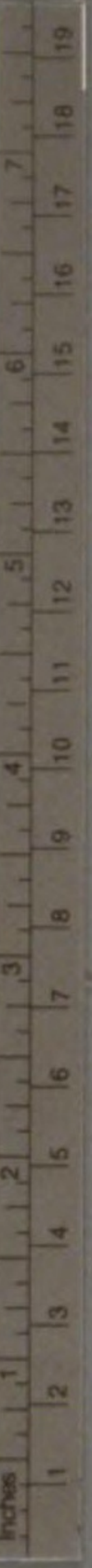
一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

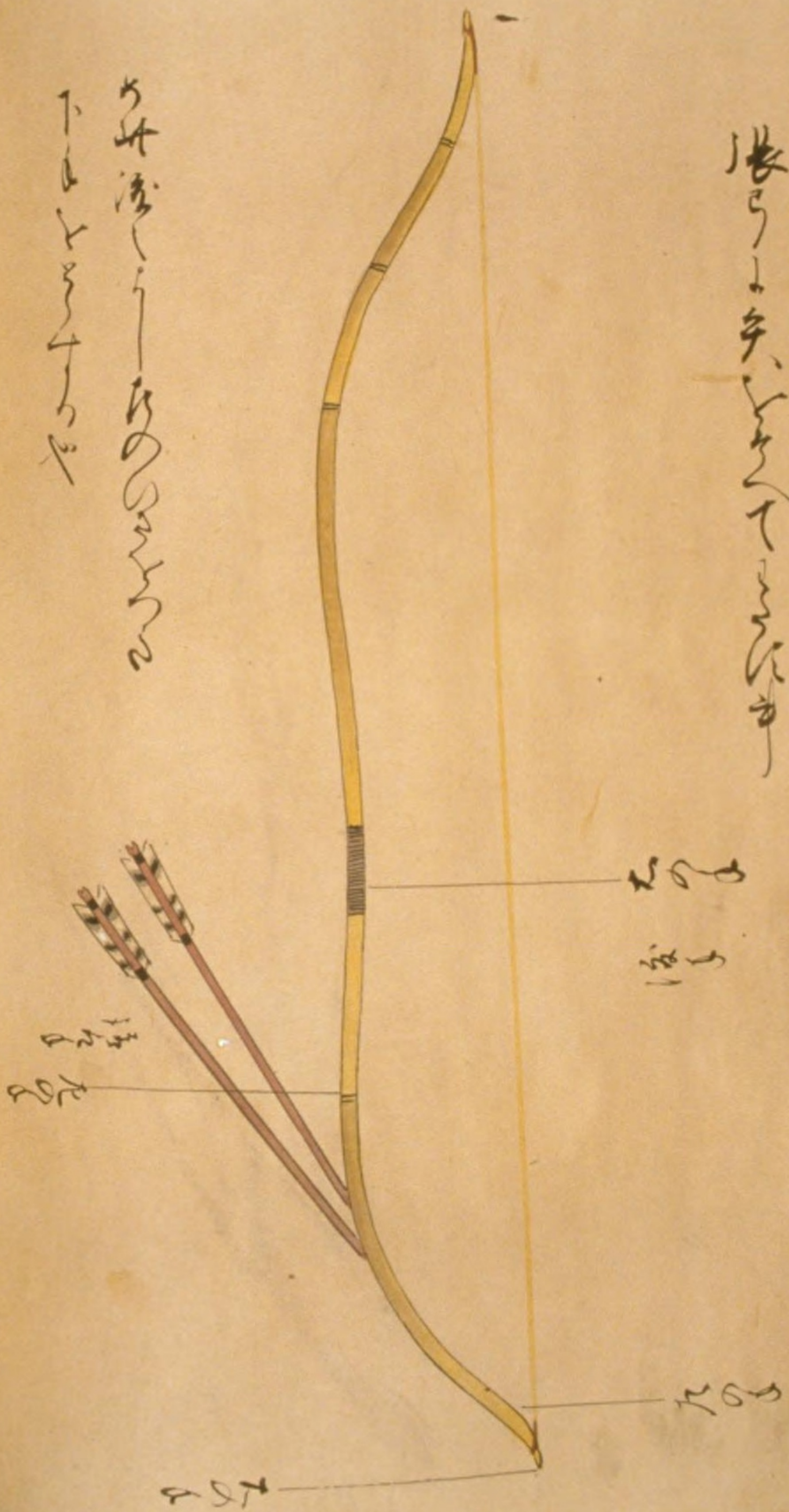
一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年

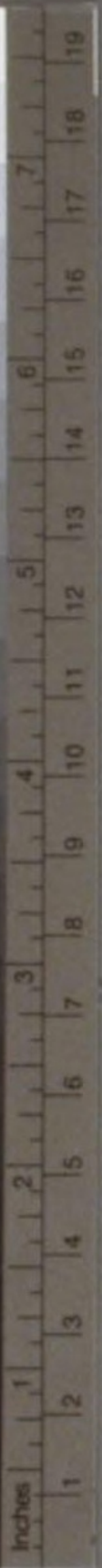
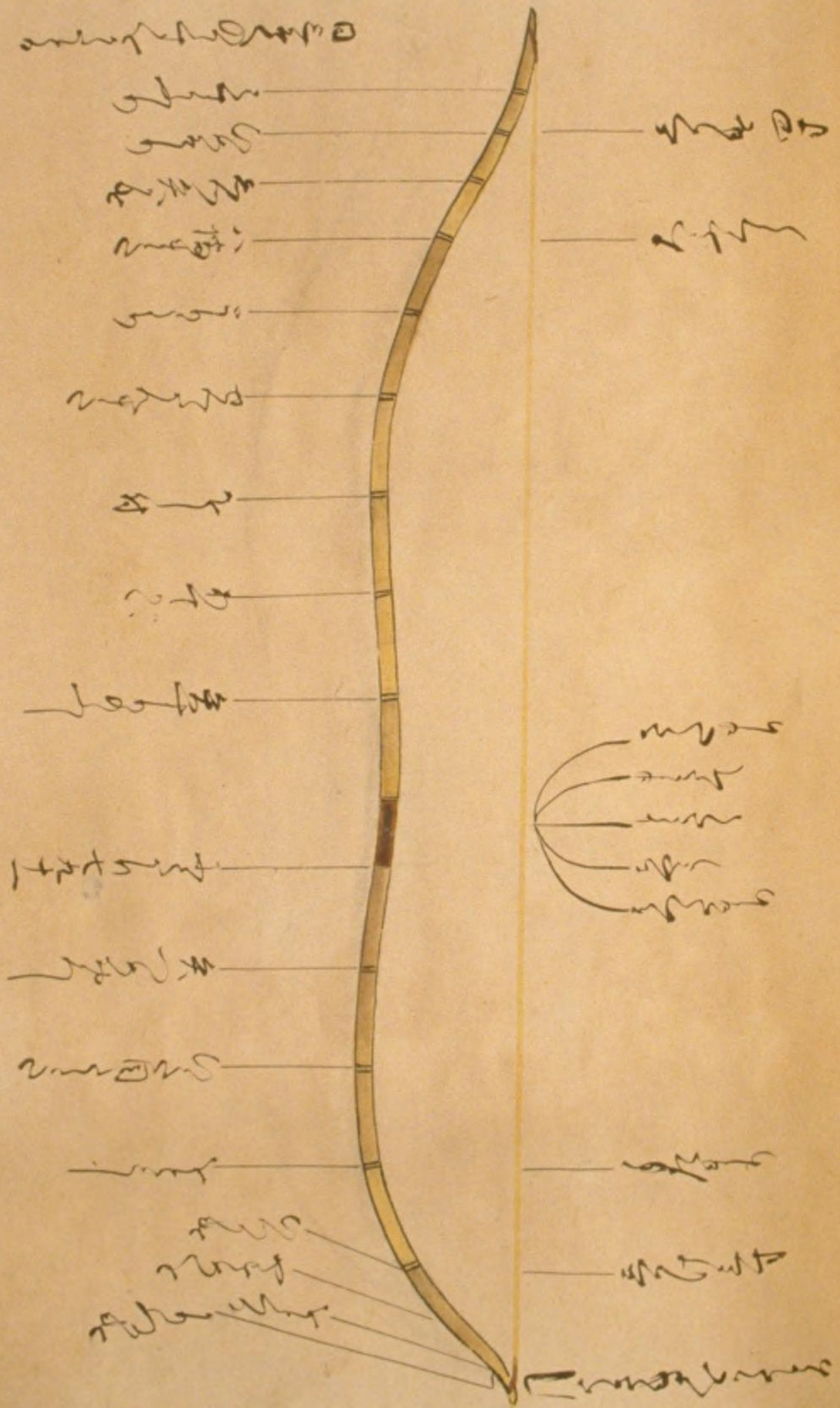
一 夫 一 年 一 年 一 年 一 年 一 年



張り下矢くまへてしるべし



くまへてしるべし
下りくまへてしるべし



一 甲斐守の御書に云々
御書

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

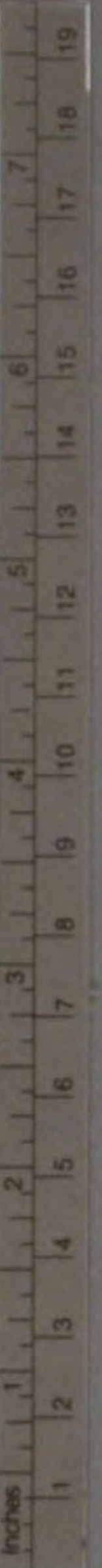
一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々

一 甲斐守の御書に云々



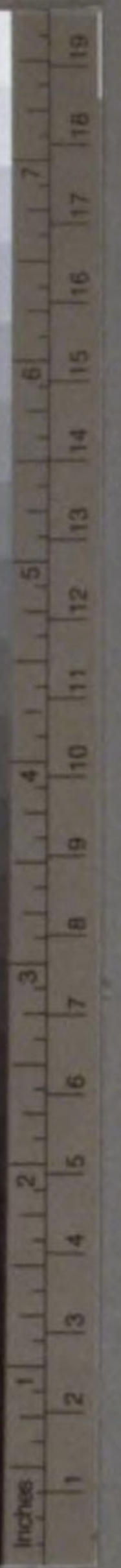
09-027

新いものなるはまはるはるのしるし
もくろくにしるしをくわくわく
せしけりまはるはるのしるし
一矢うちしるしをくわくわく
うらむはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし

一七丁のしるしをくわくわく
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし

くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし

一 家々のしるしをくわくわく
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし
くわくわくはるはるのしるし

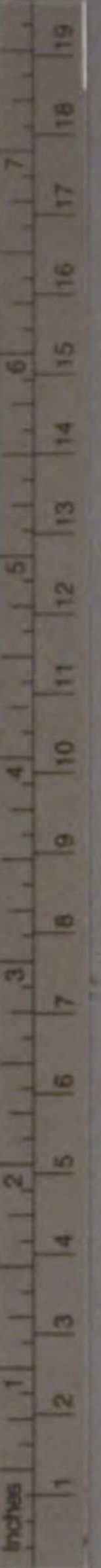


020-60

国立国会図書館

一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや

一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや
一 旗のしるしをいかにせんや



09-029

ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、

ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、

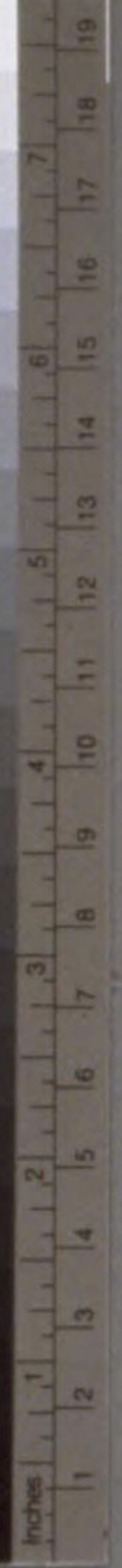
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、

ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、

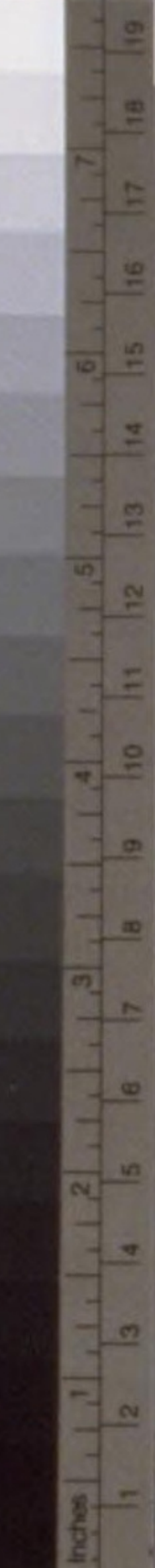
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、

ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、

ては、
ては、
ては、
ては、
ては、
ては、



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is written in two columns on each page, starting with a vertical line on the right side of each page. The script is dense and difficult to decipher without context.



~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~ 新及 英播 函也

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

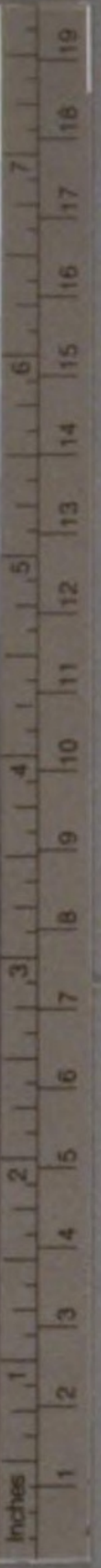
~~~~~

~~~~~

~~~~~

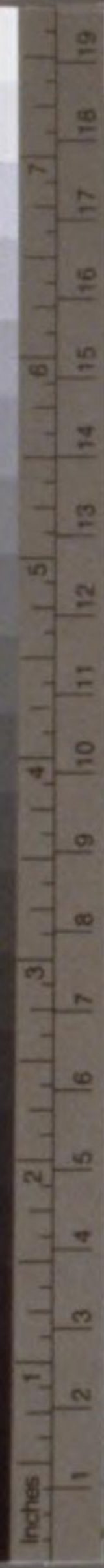
~~~~~

~~~~~

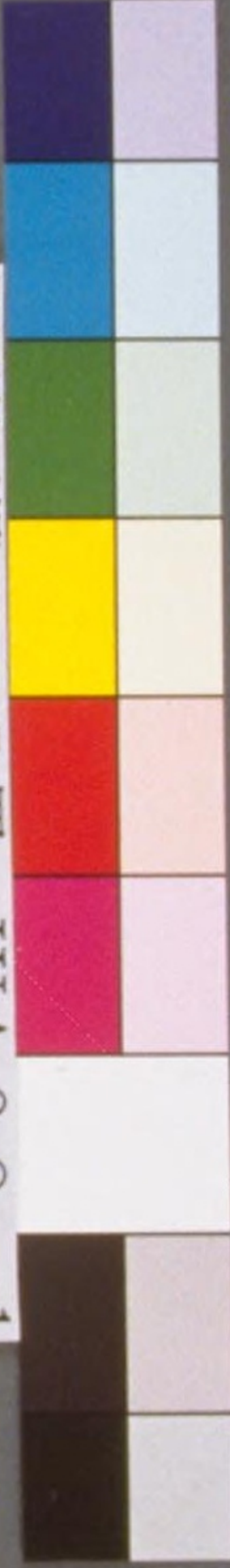


09-032

330-60



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



徳川治世

一 幕府のちよさ

一 地味のちよさ

一 同水川

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 幕府のちよさ

一 幕府のちよさ

一 同水川

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世

一 徳川治世



一 河内守の書

一 一歩の書

一 一歩の書

己ら千九ヶ條

徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 徳之治也

一 千人の軍勢のむすぶ口のてらり

一 曲をえはる

一 ち

くまのた

りんこ

ねまふ

まふ

ねまふ

まふ

ねまふ

まふ

一 曲をえはる

一 曲をえはる

一 曲をえはる

一 曲をえはる

一 曲をえはる

ねまふ

一 曲をえはる

一 曲をえはる

一 曲をえはる

ねまふ

一 曲をえはる

一 曲をえはる

一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

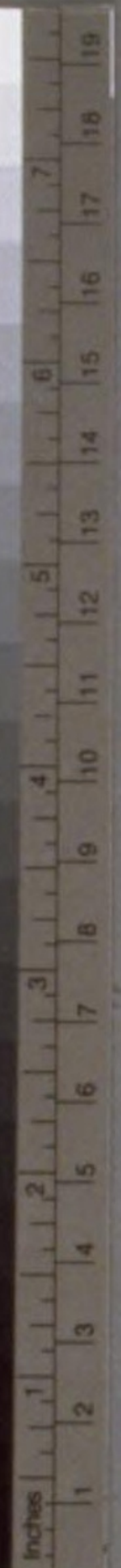
一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

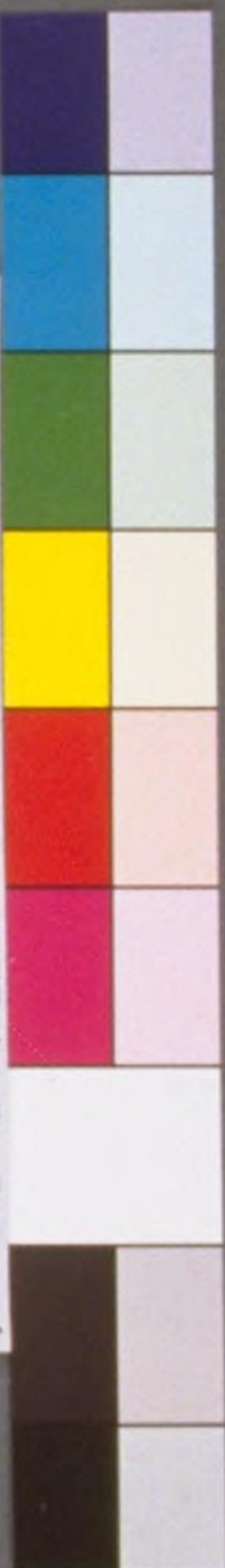
一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也 一 徳也

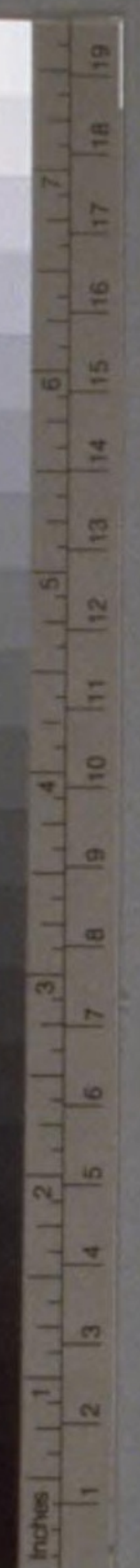
09-037



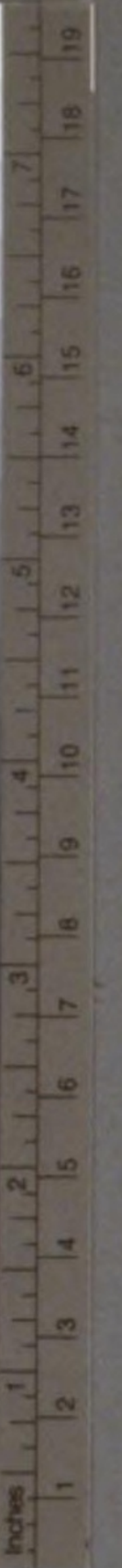


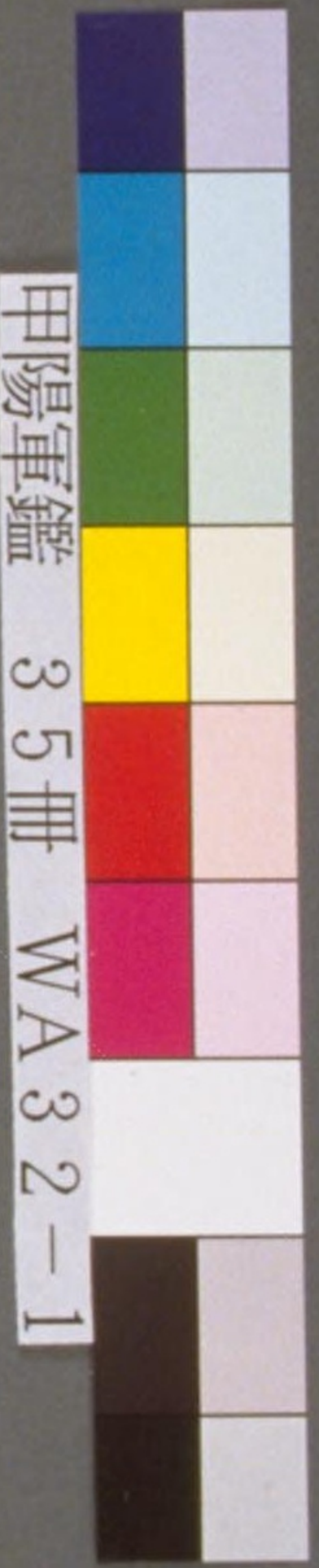
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ヲイフコトナリトシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト

ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト
ノル 龍ノ次ノ御孫トシテ 賜_ヲイカシメシキコト



一 此の如くは... (Right page text)
 一 此の如くは... (Left page text)
 一 此の如くは... (Left page text)
 一 此の如くは... (Left page text)





甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

南

桐 しんぎ

松 しょう

柳 りゅう

柳 りゅう

桐

松

柳

柳

桐

松

桐

松

南

屋

柳

柳



柳

柳

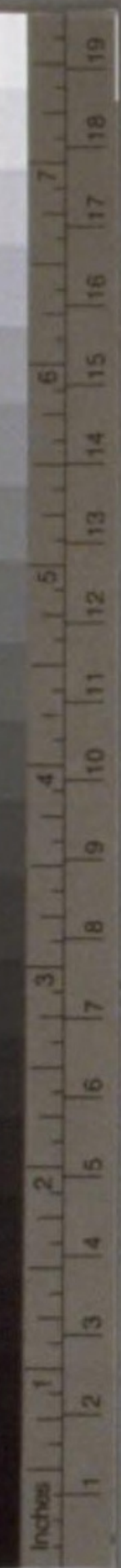
桐

松

柳

柳

一軒と樹のる一丈口尺二寸寸の母屋の
松ありまやの柳ありまやの松ありまやの



09-041

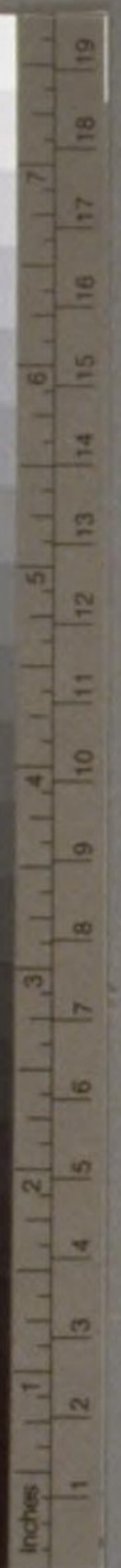
国立国会図書館

とてはしむるにいとむづかしの
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに

一物と庭とをいふは
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに

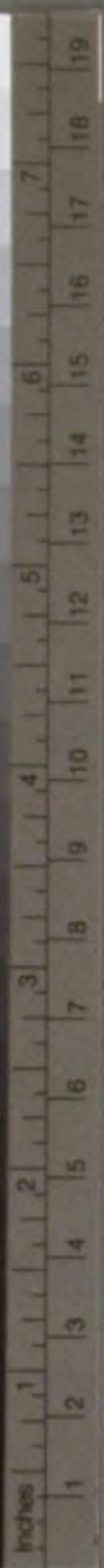
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに

一物と庭とをいふは
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに
おぼしき事なりとてはしむるに

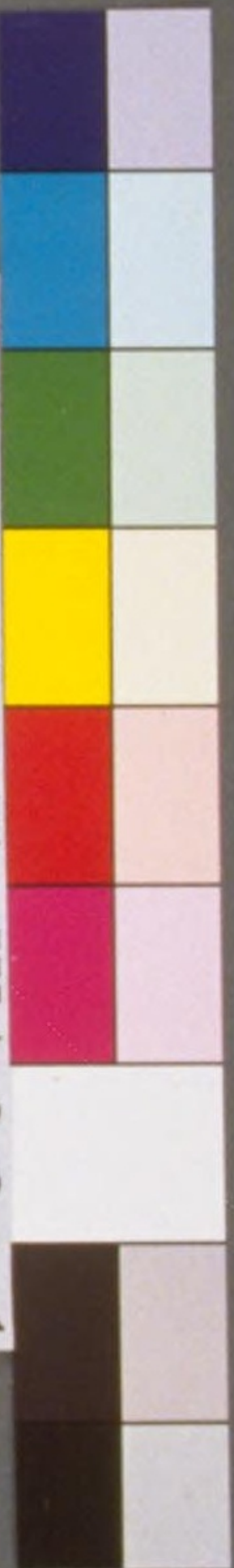
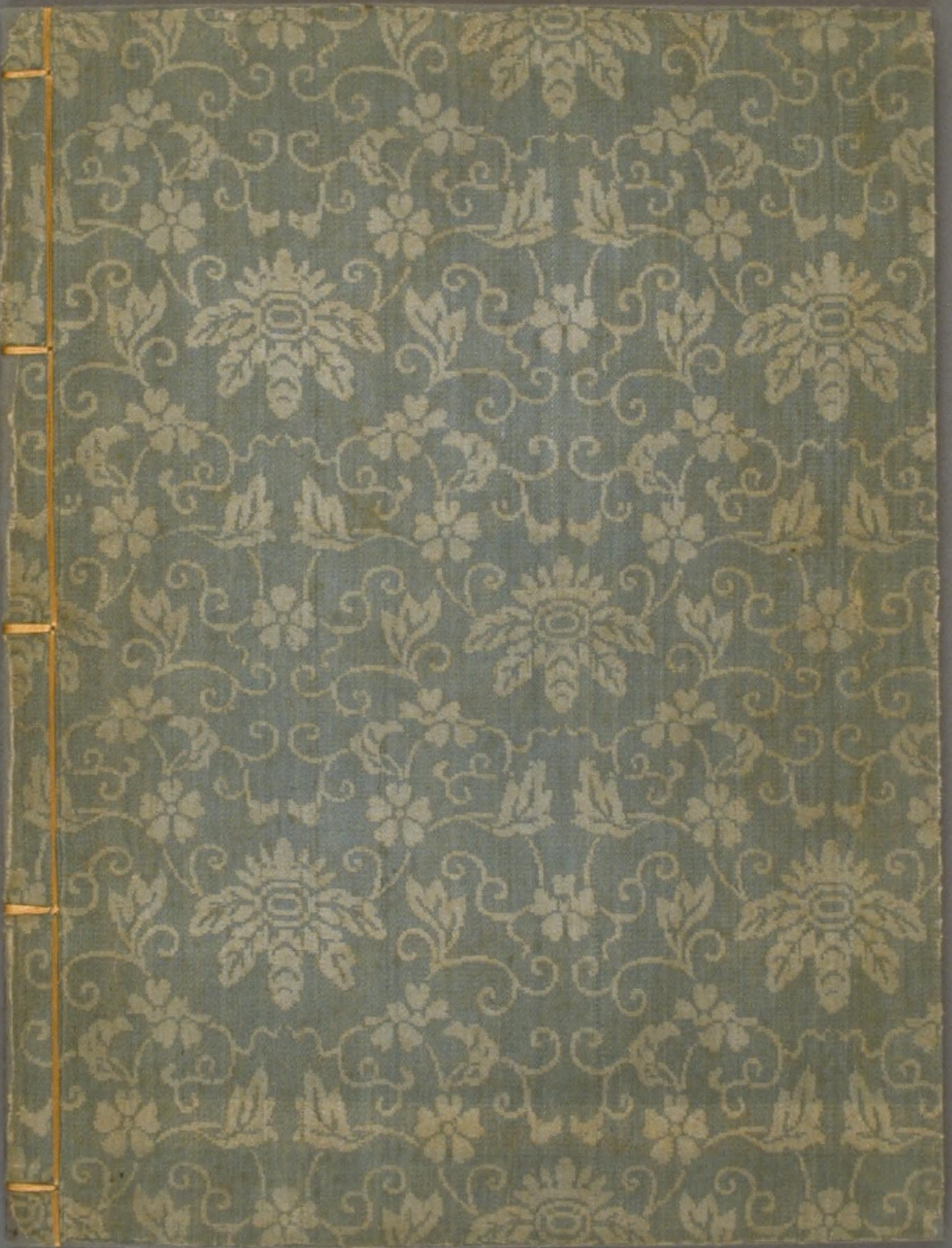




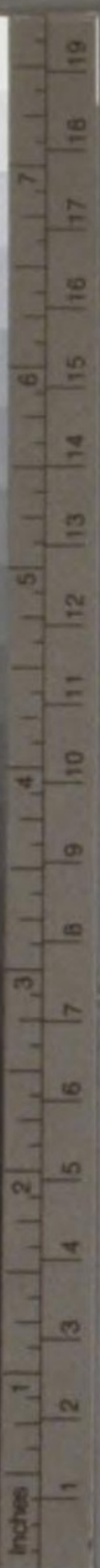
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



09-045



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



09-046